



## 平成28年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年9月4日

上場取引所 東

上場会社名 モロゾフ株式会社

コード番号 2217 URL <http://www.morozoff.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 信二

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 尾崎 史朗

TEL 078-822-5000

四半期報告書提出予定日 平成27年9月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年1月期第2四半期の業績(平成27年2月1日～平成27年7月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第2四半期	13,477	1.7	455	21.8	561	21.0	346	32.6
27年1月期第2四半期	13,251	△1.5	374	△20.2	463	△14.9	261	△4.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第2四半期	9.56	—
27年1月期第2四半期	7.20	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年1月期第2四半期	20,244		12,838		63.4
27年1月期	20,955		12,454		59.4

(参考)自己資本 28年1月期第2四半期 12,838百万円 27年1月期 12,454百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年1月期	—	0.00	—	4.00	4.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年1月期の業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	0.2	730	0.4	830	3.6	450	11.8	12.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年1月期2Q	36,692,267 株	27年1月期	36,692,267 株
28年1月期2Q	507,430 株	27年1月期	450,916 株
28年1月期2Q	36,226,774 株	27年1月期2Q	36,247,921 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。業績予想に関しましては、3ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
4. 補足情報 .....	8
販売実績 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀の経済政策を背景に、企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられるなど、緩やかな回復傾向にありましたが、円安による物価上昇や海外景気の下振れ懸念などもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は企業スローガン『こころつなが。笑顔かがやく。』を掲げ、お菓子をを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、商品の開発・改善により売上向上に取り組むとともに、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

売上高につきましては、バレンタインデー、ホワイトデーが土曜日となることによる影響が懸念されましたが、堅調に伸ばすことができました。さらに、焼菓子の売上好調もあり、当第2四半期累計期間の売上高は13,477百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

損益面におきましては、円安の影響などにより原料価格が高騰したため売上原価率は前年同期を上回りましたが、売上好調に加え、商品設計の見直しや生産性向上への取り組み、経費削減などに努めたことにより、営業利益は455百万円（前年同期比21.8%増）、経常利益は561百万円（前年同期比21.0%増）、四半期純利益は346百万円（前年同期比32.6%増）となりました。

なお、本年4月から退職給付制度の一部を確定拠出制度へ移行したことに伴い、退職給付制度改定益30百万円を特別利益に計上しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、バレンタインデーやホワイトデーをはじめとするイベント商戦が堅調に推移したことに加え、昨年9月にリニューアルした「ファヤージュ」などの焼菓子が好調に推移したこともあり、前年同期を上回る売上高となりました。洋生菓子につきましては、プリンキャンペーンの実施や素材をいかした期間限定プリンの発売などによりチルドデザートが好調に推移したものの、半生菓子、ケーキなどが低調に推移し、前年同期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は12,598百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

## [喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、菓子売店と喫茶を併設した「カフェモロゾフ イオンレイクタウン k a z e 店」（埼玉県越谷市）の新規出店、メニュー再編、集客イベントの開催などにより売上拡大を図りましたが、一部店舗の退店に伴う売上減少の影響もあり、売上高は879百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ711百万円減少し、20,244百万円となりました。資産の増減の主なもの、有価証券の増加額1,600百万円、現金及び預金の増加額720百万円、仕掛品の増加額706百万円、受取手形及び売掛金の減少額2,384百万円、商品及び製品の減少額1,489百万円等であります。負債は前事業年度末に比べ1,094百万円減少し、7,405百万円となりました。これは主に電子記録債務の減少額639百万円、退職給付引当金の減少額143百万円、長期借入金の減少額134百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ383百万円増加し、12,838百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額201百万円、その他有価証券評価差額金の増加額182百万円等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ720百万円増加し、当第2四半期会計期間末には1,779百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少、たな卸資産の減少等により、2,871百万円の収入（前年同四半期累計期間は2,241百万円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得・売却及び償還による純支出、定期預金の預入による支出、有形及び無形固定資産の取得による支出等により、1,851百万円の支出（前年同四半期累計期間は1,635百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出、配当金の支払等により、299百万円の支出(前年同四半期累計期間は297百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年 8 月31日に発表いたしました平成28年 1 月期の通期の業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年 5 月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年 3 月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第 1 四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第 2 四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更しております。なお、この変更による四半期財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	658,011	1,378,496
受取手形及び売掛金	5,456,917	3,072,650
有価証券	1,600,412	3,200,528
商品及び製品	2,188,970	699,829
仕掛品	227,703	934,554
原材料及び貯蔵品	421,103	409,864
その他	285,650	264,610
貸倒引当金	△21,600	△12,200
流動資産合計	10,817,169	9,948,334
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,399,705	2,368,518
土地	3,234,337	3,234,337
その他(純額)	1,588,738	1,544,206
有形固定資産合計	7,222,781	7,147,062
無形固定資産	110,699	97,541
投資その他の資産		
投資有価証券	2,078,327	2,310,340
その他	726,639	740,837
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	2,804,866	3,051,078
固定資産合計	10,138,347	10,295,681
資産合計	20,955,517	20,244,016

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,254,856	1,223,157
電子記録債務	1,742,929	1,103,903
短期借入金	2,118,400	2,118,400
未払法人税等	272,125	190,976
賞与引当金	232,370	225,070
その他	1,509,098	1,338,558
流動負債合計	7,129,779	6,200,066
固定負債		
長期借入金	283,800	149,600
退職給付引当金	737,959	594,856
環境対策引当金	17,934	17,934
その他	331,128	443,374
固定負債合計	1,370,821	1,205,764
負債合計	8,500,601	7,405,830
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,429	3,921,429
利益剰余金	4,164,797	4,366,098
自己株式	△118,616	△141,024
株主資本合計	11,705,077	11,883,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	492,914	675,146
土地再評価差額金	256,924	279,067
評価・換算差額等合計	749,838	954,214
純資産合計	12,454,916	12,838,185
負債純資産合計	20,955,517	20,244,016

(2) 四半期損益計算書  
(第 2 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 2 月 1 日 至 平成26年 7 月 31 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 2 月 1 日 至 平成27年 7 月 31 日)
売上高	13,251,730	13,477,905
売上原価	7,022,245	7,188,236
売上総利益	6,229,485	6,289,668
販売費及び一般管理費	5,855,356	5,833,910
営業利益	374,129	455,757
営業外収益		
受取利息	1,702	1,295
受取配当金	23,718	28,704
利用分量配当金	59,039	71,707
その他	29,304	27,703
営業外収益合計	113,765	129,410
営業外費用		
支払利息	21,274	18,652
その他	2,795	5,310
営業外費用合計	24,069	23,963
経常利益	463,825	561,204
特別利益		
固定資産売却益	3,486	—
投資有価証券売却益	31,075	—
退職給付制度改定益	—	30,808
特別利益合計	34,561	30,808
特別損失		
固定資産除売却損	10,344	10,950
特別損失合計	10,344	10,950
税引前四半期純利益	488,042	581,061
法人税、住民税及び事業税	247,393	183,007
法人税等調整額	△20,390	51,787
法人税等合計	227,003	234,795
四半期純利益	261,039	346,266



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	488,042	581,061
減価償却費	356,722	346,580
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,280	△7,300
退職給付引当金の増減額(△は減少)	104,832	△143,103
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,300	△9,400
支払利息	21,274	18,652
受取利息及び受取配当金	△25,421	△30,000
投資有価証券売却損益(△は益)	△31,075	—
固定資産除売却損益(△は益)	6,857	10,950
売上債権の増減額(△は増加)	1,860,934	2,384,267
たな卸資産の増減額(△は増加)	610,714	793,528
仕入債務の増減額(△は減少)	△761,697	△670,724
その他	△201,676	△150,790
小計	2,412,927	3,123,723
利息及び配当金の受取額	25,071	29,259
利息の支払額	△20,944	△18,199
法人税等の支払額	△175,375	△263,563
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,241,678	2,871,219
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△400,000	△400,000
有価証券の取得による支出	△2,299,730	△2,399,663
有価証券の売却及び償還による収入	1,300,144	1,199,964
有形及び無形固定資産の取得による支出	△258,317	△232,839
有形及び無形固定資産の売却による収入	5,113	—
投資有価証券の取得による支出	△2,558	△2,595
投資有価証券の売却及び償還による収入	41,661	—
その他	△22,089	△16,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,635,778	△1,851,517
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△134,200	△134,200
リース債務の返済による支出	△18,300	△18,300
配当金の支払額	△143,916	△144,275
その他	△1,415	△2,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297,832	△299,101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	308,067	720,600
現金及び現金同等物の期首残高	1,184,998	1,058,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,493,066	1,779,234

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメント別商品群別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年7月31日)	前年同四半期比 (%)
洋菓子製造販売事業計(千円)	12,598,181	102.1
(内訳)		
干菓子群(千円)	9,492,595	104.5
洋生菓子群(千円)	2,681,506	94.2
その他菓子群(千円)	424,079	103.8
喫茶・レストラン事業計(千円)	879,723	96.0
合計(千円)	13,477,905	101.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分(商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) フェイバリット、プレミアムチョコレートセレクション、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。 (キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。 (焼菓子) ファヤージュ、アルカディア、オデット等。 (デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。 (詰合せ) サマーロイヤルタイム、サマーイング、ハッピーパーティ等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。 (ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。 (半生菓子) ブロードランド、アーモンドケーキ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。